



人類に  
奉仕する  
ロータリー

# 成田ロータリークラブ

## 週報



国際ロータリー2016～17年度会長 ジョン F. ジャーム

### 第 2747 回例会 平成 29 年 4 月 28 日(金)

- ◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長
- ◇ ロータリーソング 我らの生業
- ◇ 四つのテスト 矢野 理恵 会員
- ◇ お客様紹介

#### 市原ロータリークラブ

白鳥 政孝 様 (パストガバナー)、山本 順也 様  
成田コスモポリタンロータリークラブ  
金子 公久 様、加瀬 邦雄 様



#### ◇ ニコニコボックス



山本 順也 会員 (市原ロータリークラブ) : 本日、白鳥さんと一緒に参加をさせていただきました。2人連名でニコニコさせていただきます。先日、当クラブの例会にて設楽さん、石橋さん、松田さんに卓話をしていただきまして、特に CLP について質疑応答をさせていただき、大変有益なお話を聞くことができました。ありがとうございました。



石川 憲弘 会長 : まず小宮山会員から預かりましたニコニコです。4月22日の2790地区協議会において奉仕活動優秀ロータリアンとして表彰を受けました。一緒に活動していただいた奉仕プロジェクトの委員の皆様、そしてご協力をいただきました会員の皆様にも感謝を申し上げます。次に私のニコニコです。地区協議会において、奉仕活動優秀ロータリアンとして会員増強高橋晋会員、社会奉仕小宮山四郎会員、成田クラブより2名の表彰者が出ましたこと、会長として大変嬉しく思っております。



設楽 正行 会員 : 先日6人でハワイに行ってきました。南日会員には成田空港で大変お世話になりました。四日間のうち3回ゴルフやりますが、よくハワイに行くと球は飛ぶし大変良いスコアが出ると言われております。しかし、日本にいるより悪いスコアで廻りまして、決して言われている事は本当じゃないなと思いました。二度と自分のバックを担いで海外でゴルフをやるものじゃ

ないなと決心して成田空港に降りて参りました。



**ローソン かおり 会員：**今回初めてニコニコさせていただきます。今日、実は私の誕生日でして、お蔭さまで大人の階段をまた1歩上がることができました。ロータリークラブの方から贈り物をいただきましてありがとうございました。話は変わりますが、私の息子が小学生で成田少年ラグビークラブチャオズと言うところでラグビーをしているのですが、そのコーチが成田ラグビーフェスティバル実行委員と言うことで、その関係でラ

グビーフェスティバルのご案内をさせていただきたいと思えます。5月28日(日曜日)、9時から中台運動公園陸上競技場にて明治大学対慶応大学の試合がございます。こちらは入場無料となっております。競技場の周りには千葉東北グルメ祭りと申しまして、東北や千葉の屋台が出ます。こちらのほうのポスターを皆さんの会社などへ貼っていただけたらと思います。ご興味のある方は是非お声掛け下さい。



**平山 秀樹 会員：**二点ニコニコさせていただきます。まず、先週、成田ロータリークラブの多くの皆様、弊社の新社屋竣工レセプションに足をお運びいただきましたこと、誠にありがとうございます。当日は、限られた空間で、しかも、立食形式でご不便をおかけしたと思えます。他にもたくさん至らぬ点が多々あったかと存じます。心からお詫び申し上げます。なお、ご欠席のみなさまにも当日のパンフレット等のお品を送らせていただきました。ご笑納いただければ幸いです。父、故金吾会員にもあのレセプションに出席してもらいたかったとしみじみ思いました。二点目です。小寺さんから一週間

がかりで振られている件です。おかげ様で成田市平成二十八年度優良工事表彰をいただきました。がんばってくれた社員たちを褒め称えたい気持ちでいっぱいです。

## ◇ 会長挨拶

### 石川 憲弘 会長

4月22日地区研修・協議会には成田温エレクト以下次年度の幹事・理事など数名の方が参加されました。早いものでPET、地区研修が始まりますと石川年度スタートがついこの間のよう



のように思い出されます。当日の研修委員会では、理念研究委員会の委員長に当クラブの松田泰長会員、ロータリー研修委員会の副委員長に千葉西ロータリークラブ会員の海宝勘一氏、RLI推進委員会の委員長に成田コスモポリタンロータリークラブの金子公久氏が任命され、各委員会の研修や活動方針などが発表されました。その他、理念研究委員会委員の深堀伸之会員、RLI推進委員会委員齊藤三智夫会員のお二人が委員としてお手伝いをされました。また、2790地区の協議会受賞者では奉仕活動優秀ロータリアンとして当クラブ高橋晋会員が前期にて12名の会員純増。その後も会員増強に努め、2月3日現在純増14名という成績で表彰されました。なお、高橋会員には寺嶋ガバナ一年度の会員増強委員長増谷信一氏の依頼により、成田クラブがどのようにして14名もの会員純増成果を上げたのか他クラブの参考になるように委員会にて話をいただきました。また、社会奉仕活動優秀ロータリアンには大成会かしの木園への電化製品の寄贈、第10回成田ロータリークラブ杯中学校剣道大会主催、成田環境ネットワークへの継続的参加、ボーイスカウトとの交流・支援活動等を行ったことが評価されて小宮山四郎会員が同じく優秀ロータリアンとして表彰されました。毎年行っている奉仕活動とはい

え成田クラブから二人が奉仕活動優秀ロータリアンとして表彰されたことは今年度の会長として非常にうれしことでした。また、私は次年度クラブ研修委員会委員長になる予定ですのでDL資格者ファシリテーター養成講座を修了した会員の皆様と相談しながらことを進めていきたいと思っておりますのでご協力をよろしくお願いいたします。

さて、話はロータリー活動とは離れますが成田青年会議所理事長 川村佐平治様、日本青年会議所関東地区協議会会長 平野伸一様より「3 環状線早期完成に向けた署名活動へのご協力をお願い」がきております。首都圏3環状線（首都圏中央道路自動車道・東京外郭環状道路・首都圏高速道路中央環状線）の完成がその地域に住む人・仕事の好循環をもたらす、関東地区の経済の生産性の向上の契機を作り出すと考えてのことです。署名用紙を回覧いたしますので、ご同意いただけましたらよろしくお願いいたします。また、持ち帰って会社でご協力いただける方には予備の用紙が私の手元にございますのでお渡しいたします。

#### ◇ バナー贈呈

成田ロータリークラブから市原ロータリークラブへ

##### ・白鳥 政孝 パストガバナー

今日お伺いしたのは、先週私たちのクラブに松田さん、石橋さん、設楽さん3人がCLPのことでお見えいただきご指導いただきました。帰りにいろいろお話ししたかったのですが、私はクラブ内の用事がありできなかったものですから、今日改めてお伺いさせていただきました。逆においしいご飯などいただき、また借りを作ってしまいました。

7人で成田クラブのCLPを完成させ、もの見事にそれを継続していると言うことに敬意を表したいと思います。そのせいか、また土地柄もあると思いますが今2790地区で1番勢いのあるのが成田ロータリークラブさんです。私たちも成田クラブさんにあやかってCLPを推進しやっついこうと思っております。4月21日の週報を今日いただきました。橘会員の卓話の中にノートルダム清心女子大学の学長をされていた渡辺和子先生の話が載っております。何か仕事をするのに愛を込める、そして仕事には雑用なんてない、無駄なもの一つもない。心を込めることによってそれを重ねるにつれて人間性が出るというお話が載っておりました。素晴らしいお話をされているなと思えました。

それと4つの標語が載っております。これも非常に教訓に満ちた言葉で

- ・伸びる人は終始努力し行き詰る人は気づかぬ所で怠けている
- ・言い訳が上手になるほど向上への道が閉ざされていく
- ・知っているのと実行するのとでは天と地ほどの開きがある
- ・誰も教えてくれないのではない自分に学ぶ気持ちが足りないのだ

ここに至っては胸に刺さるような言葉でした。

私も36年ロータリーの会員でいるのですが、考えてみますとロータリーとは人を育てる団体だと思えます。人を育てるにも人を大事にする団体であり、人間関係を大事にする団体であり、人間の尊厳と言うものを非常に大事にする団体です。この事は初めからわかったわけではありません、最近わかったことです。成田クラブさんの週報を見ても素晴らしいお話をされているなど感心いたしました。

昔、成田中学時代に野球で全国大会に出場しました。その時、石原さんと言う方がいらっしゃって、私はその方に憧れ成田中学の野球のファンになりました。成田に来るとそういうことがふっと頭をよぎります。またロータリーを通じて色々知り合った方も多いため、



非常にここへ来るとアットホームな感じがしています。今日はお礼方々参上しました。今後につきましても、成田クラブに負けないように市原ロータリークラブも頑張りますのでご指導のほどよろしくお願いいたします。

#### ◇ 委員会報告

・米山記念奨学 堀口 路加 リーダー

本日、石橋会員より 100,000 円の寄付をいただきました。



#### ◇ 幹事報告 吉田 稔 幹事

##### 《回覧》

- ・例会変更 成田コスモポリタン、印西、白井、多古ロータリークラブ
- ・第9分区親睦ゴルフのご案内 5/22 (木)
- ・首都圏3環状線早期完成に向けた署名活動へのご協力をお願い

##### 《連絡》

・5月の第一週5日は祭日休会です。12日が月初例会となり理事会を開催いたします。26日は新会員の研修と歓迎会でU-シティホテルでの夜間例会となります。23日はRF主催の当クラブのゴルフコンペです。

・5月のレート 110円・各種出欠表・クールビズ 5月12日～10月27日



#### ◇ 卓話

### —米山記念奨学事業の現状について—

堀口 路加 会員

米山記念奨学委員会のリーダーの堀口です。

先週の例会においても申し上げましたが、石川会長年度は新会員がたくさんいらっしゃるから神崎委員長と相談して新会員対象の米山記念事業の研修会を企画しましたところ、新会員だけでなく、改めて会員の皆様に米山記念奨学事業について意識を向けていただき、理解を深めていただくと良いのではないかということになり、本日、こうして卓話の機会をいただくことになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

お手元に豆辞典をご用意いただいている方は、それを参考にさせていただきながらお聞きいただければと存じます。

ロータリー米山記念奨学事業、もう十分知っているよという方もいれば、名前は聞いたことがあるという新しい会員の方もいらっしゃると思います。又、ベテラン会員の皆さんの中にも、「今さら人には聞けないけど、実はあまりよく知らない...」という方もいらっしゃると思います。まず簡単に、ロータリー米山記念奨学事業についてご説明いたします。



ロータリー米山記念奨学事業とは何でしょうか。

米山さんが作った奨学財団だと思われている方がいらっしゃるかもしれませんが、実は違うんです。

ロータリー米山記念奨学事業とは①日本のロータリーが作った独自の事業で、34地区、全地区が推進する多地区合同プロジェクトです。②事業の始まりから一貫して、日本で学ぶ外国人留学生を対象としています。③将来、日本と世界とを結ぶ「架け橋」となって、国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することを事業の使命としています。私は当初「日本と母国」とを結ぶ役割と理解していました。しかし、グロ

ーバル化が進み、留学生が活躍する場は必ずしも母国に限定されるものでなくなり「日本と世界を結ぶ」と変わってきたのです。さらに奨学生の国籍もアジアに限定されず1999年4月採用の奨学生から全ての国と地域が対象となっています。この奨学金の最大の特長は「世話クラブ・カウンセラー制度」です。大学には多くの奨学金制度がありますが、そのほとんどが、奨学金が銀行に振込まれるだけで、そこには人的交流はほとんどありません。米山奨学金では奨学生は最低でも毎月一度世話クラブの例会に出席して奨学金を直接受け取ること、地区の米山委員会の活動に参加することが義務とされていて、カウンセラーや世話クラブ会員と交流することを大切にしています。「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」というのは、この事業をおこなうために、日本のロータリーが協同して運営する日本でも最大級の奨学財団で、財源はすべて会員のみなさんからのご寄付で成り立っています。成田ロータリークラブは会員でいらした平山金吾氏が米山記念奨学会の副理事長をされていたこともあり、米山記念奨学事業に対する理解が深く、2016年7月31日時点の寄付金累計額は65,484,111円（普通寄付金8,979,350円、特別寄付金56,504,751円）と2790地区で群を抜いて一番の実績額となっています。寄付金の実績は米山記念奨学会のホームページに詳しく公表されていますので、ご覧いただければと思います。

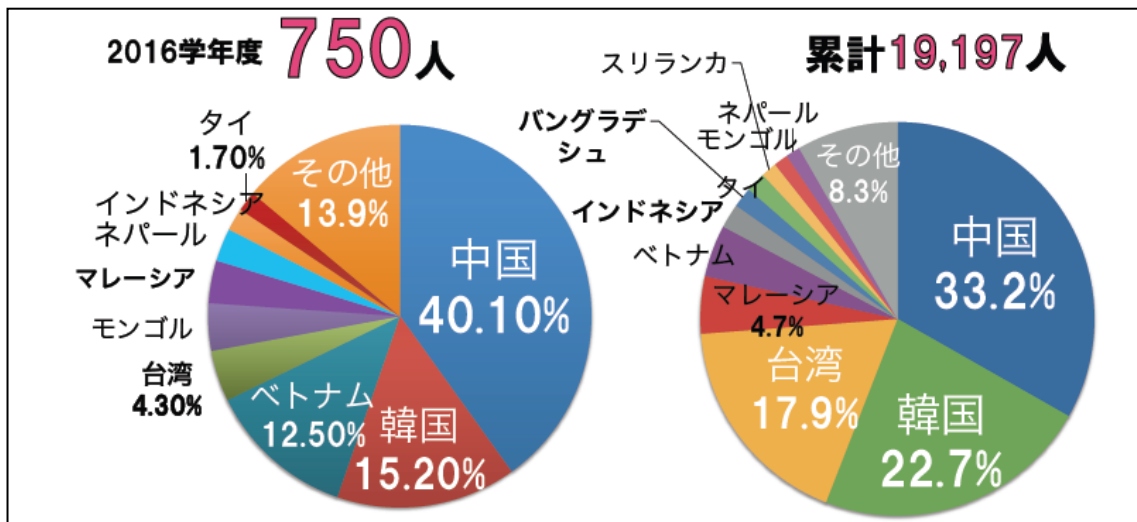
先ほど米山記念奨学会は、米山さんが作った奨学財団ではありませんと申し上げました。ここで少しその始まりについてお話し申し上げます。

わが国最初のロータリークラブは、1920（大正9）年10月20日に創立された東京RCで、翌1921年4月1日に国際ロータリーに加盟が承認されました。日本のロータリークラブ設立は、創立の準備に奔走した米山梅吉ら先達の功があつてのことですが、日本のロータリーは、第2次世界大戦の波に洗われて、1940年に国際ロータリーから脱退してしまいます。第二次世界大戦終戦の翌年の1946年、“日本のロータリーの父”米山梅吉氏が亡くなりました。その後、日本ロータリーは1949年3月になって再び国際ロータリーに復帰加盟しました。米山奨学金は日本のロータリーの父と呼ばれる米山梅吉氏の功績を永遠に偲ぶことができる事業をやろうと1952年、東京RCが始めたものなのです。当時は「米山基金」という名前で、アジアから優秀な学生を招いて研究させようというもので、彼らが思い描いていたモデルは、アメリカのフルブライト奨学金でした。「二度と戦争の悲劇を繰り返さないために“平和日本”を肌で感じてもらいたい」。当時の日本のロータリアンたちは、人と人との交流こそが、国際理解と親善への近道であり、平和な世界の基礎を作ると考えていたのです。こうして、東京RCが始めた「米山基金」は、わずか5年で、日本の全ロータリークラブの共同事業となり、1967年には財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。



写真は、米山梅吉翁（上）と、米山基金の構想を発表した東京RC会長を務めた古沢文作氏（日清製油常務取締役）（下）です。こうして米山奨学金は、今では日本で民間最大の国際奨学事業となりました。2016学年度の奨学生は750人、2016年7月現在の累計で、世界124の国と地域から19,197人を支援しています。詳細をお知りになりたい方は後ほど豆辞典15ページをご覧ください。奨学生の国・地域別の割合はグラフのとおりです。2016学年度は、中国が40.1%、続いて韓国が15.2%、ベトナムが12.5%となっています。ベトナム・モンゴル・ネパールからの留学生が以前に比べて急増しています。累計では、中国が33.2%、韓国が22.7%、台湾が17.9%の順となっています。こうした実績から時々、「中国の学生が多すぎる」という声をいただくことがあ

ります。日本に來ている外国人留學生は昨年度239,287人で90%以上がアジア人です。その中でも最も多いのが中国人(98,483人、41.2%)なので、まず、絶対数が多いことをご理解ください。



2790地区の米山委員会でも指定校に対して、国籍バランスを考えて推薦してもらうようお願いしたり、地区での選考の際は、優秀性を重視しつつも一カ国に偏らないようにするなど、できるかぎり努力しています。今、皆さんの周りにいる中国人奨学生は、狭き門をくぐりぬけて採用されたとても優秀な学生たちです。

次に米山奨学生は、どのように選ばれているかについてご説明します。

毎年6月に寄付金収入予測に基づき翌年度の全体の奨学生数が決定されます。2017学年度は780名とされていましたが最終的な採用数は795名だったとお聞きしています。この採用枠から海外の学友会推薦枠、海外応募者対象枠の人数を除いて各地区に割り振られていきます。ロータリー年度は7月始まりの6月終了ですから6月上旬に決められる各地区の人数割り振りは前年度の寄付金実績が採用されます。今まさにこの作業が進んでいて、6月末までに2018学年度の奨学生数が各地区に通知されますが、この際に用いられるのは2015-16年の寄付金実績ということになるのです。

一方、各地区では奨学会本部から知らされる人数を念頭に各地区にある大学から「指定校」を選びます。2790地区では指定校に対して、こういう留學生を推薦してほしい、国籍が偏らないように推薦してほしいなど要望を出しています。指定校の中で学内選考が行われ、10月の締切に合わせて米山奨学生の候補者が推薦されてきます。推薦された学生を地区が面接し、最終的な合格者を決めています。合格の倍率は、全国平均で約2~3倍です。かつて、ロータリークラブ推薦で奨学生を選んでいた時代もありましたが、公平性が保たれなくなったなどの理由により1998年に廃止されました。現在は一部を除いて、指定校から推薦された留學生を地区の米山選考委員会が面接選考しています。

795人の奨学生がどのように地区に割り振られるかをお示ししますとこのようになります。①各地区の奨学生資格を満たす留學生数の割合で10%、②特別寄付者割合で10%、③個人平均寄付額で30%、④寄付金総額で50%。こうして出された各割合の人数を34地区の構成比率を乗じて各地区の割り振り奨学生数が決まってきます。

学部・修士・博士課程奨学金は地区委員会が決める指定校に在籍する留學生で、採用時に各課程の最終学年もしくは一つ前の学年に在籍する45歳未満の者という条件があります。奨学金の額は月額で学部課程10万円、修士・博士課程14万円で、奨学金の支給期間は課程修了まで最長2年間となっています。そのほかに4つの応募枠(地区奨励奨学金、クラブ支援奨学金、海外応募者奨学金、海外学友会推薦奨学金)がありますが、詳細は豆辞典の25-26ページをご覧くださいと思います。

クラブ支援奨学金について一つ付け加えたいと思います。

クラブ支援奨学金とはその名前の通り、世話クラブが申請し、延長期間の奨学金の半額ずつをクラブと奨学会で負担するもので、期間は1年間。成田ロータリークラブが世話クラブとなったムクバト君もこの制度で一年延長して千葉大学大学院の博士号を取得しました。お嬢ちゃんがこの4月に小学校に入学したとのことで、写真を送ってきてくれましたので紹介します。



次に奨学生がどんな基準で選ばれているのかについて説明します。

奨学生を選ぶ基準ですが、米山奨学金は、経済的に困っているから支援するものではありません。また、国籍で判断もしていません。日本語が上手なだけでも、成績が優秀なだけでも、合格できません。米山奨学事業の使命は、将来、日本と世界との懸け橋となる優秀な人材を育成することです。その資質がある留学生を、全国共通の評価項目にしたがって、公平に選考しています。

詳しい評価項目や点数配分は公表できませんが、「学業」・「異文化理解への柔軟性」・「コミュニケーション能力」などを総合的に判断し、公平に選考しています。なぜお金に困っている留学生を選ばないのか？との素朴な疑問を抱く方もいると思います。それは、米山奨学事業が使命とする人材育成に、経済状況は関わりがないからです。応募書類には、経済状況や家族構成を記入する欄がありますが、選考の際には評価しません。たとえ親が裕福であっても、留学生活は経済的に自立するためアルバイトを掛け持ちする学生がほとんどです。高い教育を受け、将来母国などで影響力のある人物となる可能性のある人物を重視します。こうした選考基準は、推薦をして来る大学の先生たちにもっと意識してもらう必要があるということからこの数年、当地区でも大学の指導教授を招いて米山記念奨学金の説明会やオリエンテーションをするようになってきました。

こうして私たちが支援した米山奨学生たちは、世界でさまざまな活躍をしています。巣立った学友の活躍と、交流によって育まれた絆は、この事業の最大の成果であるといえます。1万9千人以上の学友を一度にご紹介することはできませんが、豆辞典17-18ページに学友の活躍が紹介されていますのでご覧ください。母国モンゴルに戻り、日本型高専を設立したシルネン・ブヤンジャルガル君、成田ロータリークラブが世話クラブとしてお世話をしたシルネン君の活躍も米山学友の中でも注目されています。米山の情報は、米山奨学会のホームページや公式フェイスブックページ、「ハイライトよねやま」（毎月1回発行 メールニュース）、『ロータリーの友』よねやまだより、『米山学友の群像』（※vol.5を2016-17年度発行します）など、さまざまところで発信されています。ぜひチェックしてください。

1年間もしくは2年間の奨学期間が終わったあともロータリーとの接点を持ち、学友同士の友情を深める学友会という組織があります。

学友会は、日本国内に33、海外には台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ、マレーシア、ミャンマーと9つの学友会があり、その数はどんどん増えつつあります。学友は、特に日本国内であれば、どこに引っ越しても学友会があるわけです。

次に皆さんの米山に対する日頃のご支援に心から感謝申し上げ、財政状況・当地区の寄付実績についてご報告します。米山は、ロータリアンからの毎年の寄付金と、資産の利子収入だけで成り立っています。いただいた寄付は奨学事業だけに使い、管理費は利子収入で賄うようつとめています。昨年度の寄付金は15億7,738万円(普通寄付+特別寄付)で、

12年ぶりに15億円を超えました。利子を合わせると、収入は全部で16億4,779万円でした。支出は、奨学金、地区や世話クラブへの補助費などの事業費は全部で12億5,748万円、これに管理費を合わせても収入を大きく下回り、2015-16年度は3億円以上の黒字となりました。奨学生採用枠を増やしているものの、寄付金が予想以上に好調でした。支出のうち理事会など会合旅費、管理部門の事務局人件費など「管理費」は、“利子収入”で賄うことができます。支出に占める管理費の割合は5%と非常に低く、公益性の高さを表しています。

地区別の個人平均寄付額を見てみると、昨年度の個人平均寄付額の全国平均は17,779円、最も高かったのは、第2760地区（愛知県）の44,399円でした。当地区は一人平均18,237円、全国で第11位でした。

米山への寄付金は大きく分けて2種類あります。クラブが決めた金額を会員数分送金する「普通寄付金」は、全国平均が4,760円に対し、当地区は4,175円でした。また、個人・法人・クラブからの任意の寄付、「特別寄付金」は、全国平均が13,019円、当地区は14,061円でした。先ほどの“個人平均寄付額”は、この普通寄付と特別寄付を合わせた金額です。特別寄付金の寄付者割合とは、会員の中で個人として特別寄付をした人の割合です。全国平均は43.2%、当地区は37.4%でした。

米山への寄付は、所得税・法人税の税制優遇が受けられます。「税額控除」と「所得控除」、どちらか有利な方を選択することができます。「税額控除」は、寄付額の約40%を、所得税額から直接控除することができるもので、「所得控除」よりも控除額が大きくなることが多いです。例えば、課税所得が750万円の方が、10万円寄付した場合、税額控除の場合は3万9,200円も所得税が還付されます。特別寄付金だけでなく、普通寄付金も、申請をすれば領収書が出ます。すべての領収証を合算して、年間2,000円以上の寄付でメリットがあります。法人の特別寄付についても、法人税が軽減されます。

2017年7月、米山記念奨学会は財団設立50周年を迎えます。1952年に東京RCで事業の構想が発表され、さまざまな苦労を経て1967年に財団法人ロータリー米山記念奨学会が設立されました。日本で学ぶ外国人留学生は、当時わずか4,000人程度であったのが、現在では約24万人。留学生の受け入れは、グローバル社会の今、重要な国家戦略の一つとなっています。米山奨学事業は、日本で学ぶ外国人留学生に、ただお金を支援するものではありません。一番大切なことは、彼らに日本での勉学を全うしてもらうことです。それと同時に、実際の日本を知ってもらうこと。日本に友人をたくさん作ってもらうこと。平和を求めるロータリーの精神を理解し、信念を受け継いでもらうこと。これは、人間対人間の交流でしか出来ないことです。財団設立50周年を機にどうぞ米山記念奨学事業に対して、今一度関心を向けていただければと思います。以上で卓話を終わらせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

## ◇ 点 鐘 石川 憲弘 会長

### 出席表

会員数	出席義務者数	出席数	欠席数	出席率	前回補正
70	68	42	26	61.76%	74.63%

### MAKE UP CARD

氏 名	月 日	クラブ名
松田 泰長 会員	3月5日	次年度地区チーム研修会
松田 泰長 会員	3月21日	地区研修委員会
松田 泰長 会員	3月22日	RLI委員会
松田 泰長 会員	4月11日	大多喜ロータリークラブ
松田 泰長、諸岡 靖彦、深堀 伸之 各会員	4月22日	地区研修・協議会
松田 泰長、諸岡 靖彦、佐瀬 和年、神崎 誠 各会員	4月24日	第2790地区RLIパートⅢ
諸岡 靖彦 会員	4月26日	地区戦略計画委員会
石川 憲弘、成田 温、長原 正夫、深堀 伸之、堀口 路加、吉田 稔 各会員	4月28日	諸岡ガバナー年度の打ち合わせ

事務局 〒286-0127 成田市小菅 700  
成田ビューホテル内  
電話/FAX 0476-33-8786

8

例会場 成田ビューホテル  
電話 0476-32-1111  
例会日 金曜日 12:30  
例会出欠連絡先(直通)  
電話 0476-32-1192 FAX 0476-32-1078